

どういう手順で計画をつくるの？

① 計画の対象範囲を決める

- 地区防災計画における「地区」は、自主防災組織、町内会・自治会、商店街、小学校区、マンション管理組合など、地域の事情に応じて自由に決めることができます。
⇒ まずは地区の防災士に相談してみましょう！（派遣することもできます）

② 地区の特性を知る

自然特性：過去の災害、想定される災害

社会特性：居住者の年齢層、助け合いの仕組み

- 特性をみんなで確認するために、「災害図上訓練」や「防災まち歩き」、「避難所指定場所の実地確認」などに取り組みます。
⇒ まちの地図を見ながら、被災想定やハザードマップを確認しましょう！



③ 活動内容と役割分担を決める

災害時

- 初期消火、救出・救助・搬送、避難誘導、避難所開設等をあらかじめ決めておいた役割分担で、すばやく対応します。
⇒ 避難誘導、初期消火、応急手当、炊き出しなど、多様な訓練に挑戦しましょう！

平常時

- 防災教育・防災訓練、防災まちづくり、資材備蓄、各種団体との連携協議、計画の継続的な見直しなどの計画を定めておきます。
⇒ いざという時に迅速に対応できるよう、日頃から力を合わせて取り組み、みんなで役割分担を決めておきましょう！

④ 計画案をまとめ、みんなで合意

- 「地区（自分たちのまち）」でできる現実的な計画を作り、みんなで確認し、合意します。
⇒ みんなで作り、みんなで守る計画にしましょう！



イラスト出典：いらすとや、日本防災士会

⑤ 市町村防災会議に提出

- あらかじめ市町村防災担当課と話し合った上で提出します。
⇒ 防災担当課とのコミュニケーションを心がけましょう！

お問い合わせ 特定非営利活動法人 日本防災士会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館3階

TEL:03-3263-1678 FAX:03-3263-1583 <http://www.bousaisikai.jp/>

※当会は、防災士の資格を有する有志で構成されたNPOで、会員数は9,082名（令和3年12月末日現在）です。



R4.2作成

みんなでつくろう！

地区防災計画



～ 家族を守り まちを守る ～

■ 地区防災計画とは？

災害時に自分たちのまち（地区）を自分たちで守るために、日頃からの準備、役割分担、訓練内容などについて、自分たちでつくっていく行動計画です。

日本防災士会は
計画づくりや
各種訓練を
お手伝いします！



イメージキャラクター
防サイ君



特定非営利活動法人
日本防災士会



あなたの「まち」では、いざという時の備えできていますか？



なぜ「地区防災計画」が必要なの？

- 災害発生時、助けてくれるのは近隣住民です。
- 災害による被害を最小化し、誰一人取り残さないためには、「自助」の充実はもちろんですが、行政が作る「地域防災計画」と、住民で作る「地区防災計画」を車の両輪として進めることが重要です。
- 「地区防災計画」を通じて、いろんな人々とつながることで、無限大の可能性を秘める「自助+共助」を推進することができます。



図. 大災害時に望まれる自助、共助、公助の関係性

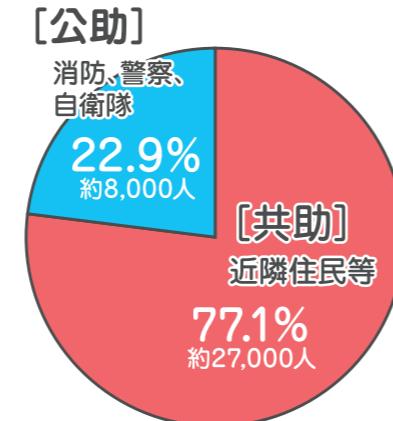


図. 阪神・淡路大震災における
救助主体と救出者数

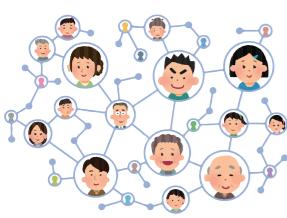
出典：「大規模地震災害による人的被害の予測」
(1997) 自然科学第16巻第1号より

計画を作成した地区では、どんな反響があった？



①地域を見つめなおす 絶好の機会になった！

- ・自分のまちを改めて見直すことで、災害時の課題を認識できた。
- ・地域の歴史を知ることで、まちの良さを発見できた。



②新たな交流・ネットワークが生まれた！

- ・これまで交流がなかった人たちと、お互い顔の見える関係になった。
- ・民生委員や児童委員、社会福祉協議会や企業も参画して、
地区内の新たな連携体制ができた。



③役割が明確になり、活動の継続性につながった！

- ・計画作成に参加することで日頃からの役割と結び付いて、
自分の役割を認識することができた。
- ・災害時だけではなく、日頃の地域活動の活性化につながった。



④備えた分だけ安心につながった！

- ・地域の危険個所を共有することで、自分の備えも見直すことができた。
- ・ご近所や地区住民が一緒に取り組るので、より安心感が高まった。

何を計画するの？

1. 地区の特性に応じた計画

- あなたの「まち」の災害リスクと被害を想定し、地区内の危害要因に応じた、「準備」と「行動」を話し合って、「誰一人取り残さない」計画を目指します。



地震・津波



風水害



土砂災害



その他の考えられる災害



2. 地域コミュニティ主体のボトムアップ型の計画

- 計画は、地区の特性をよく知っている住民自身が作成しますので、範囲となる地区の設定は「自由」です。
- 災害も被害も多様化している中で、住民個々に合わせた計画が望されます。
- コミュニティの中の事業所や福祉施設などと、一緒になって取り組むことも考えましょう！



3. 繼続的に地区防災力を向上させる計画

- はじめは、紙1枚の計画書でもOKです。
- 計画、実行、見直しをくりかえし、年々進化・充実を図りましょう！



初期消火



応急手当



避難訓練・避難所開設



安否確認など

計画・実行・見直しのくりかえし

地区防災計画をもっと詳しく知りたい方はこちら！

内閣府「みんなでつくる地区防災計画」
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/>

男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点」
<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>

内閣府「防災計画ガイドライン」(H26.3)
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/guidline.pdf>

地区防災計画学会
<https://gakkai.chiku-bousai.jp/>